

平成26年度千葉市NPO活動大賞エントリーシート

提出日 平成26年10月24日

エントリー番号	15	※エントリー番号欄には何も記載しないでください
1 エントリーする活動名	健全な市民農園普及のための研究会開催と実践的な指導育成活動	
2 法人名	特定非営利活動法人千葉県市民農園協会	
3 代表者氏名	理事長 廻谷義治	
4 主たる事務所の所在地	千葉県千葉市稲毛区天台4-3-3-203	
5 法人の連絡先	(287) 2364 megu420yoshi@nifty.com	
6 活動の目的	多様な機能を有する市民農園に対する正しい理解と市民農園の定着と発展を推進する本会の目的達成のため、情報を収集し提供していく研究会を開催し、併せて践的指導者の市民農園コーディネーターを育成する。	
7 活動の概要	研究会は、25年度のテーマを「福祉と市民農園」と定め、会場を千葉県青少年女性会館とし、7月に“子育て”、9月に“高齢化社会”、1月に“ハンディを意識しない社会づくり”、3月に“これからの福祉社会”の具体的な課題で4回開催した。また、11月には東京都中野区の高齢者福祉農園を事例調査した。対象は、千葉県を中心とした市民農園活動者約50名である。市民農園コーディネーター資格認証制度を設け、年1回試験を行い、平成17年度以降これまでに全国から55名を認証した。内、千葉市から13名、他の千葉県内から20名を認証している。	
8 工夫した点	研究会の開催にあたっては、開催時期はほぼ同じ時期に開催し、そのうちの1回は現地調査とし、実態の把握に努めている。また、会議形式の研究会は会場を同一とするように心がけ、参加者が参加しやすいようにした。市民農園コーディネーターの資格認証試験は毎年11月第2日曜日に行い、2月中旬に認証している。認証後2年ごとに資格を更新し、研究会等を活用しながら専門家としてのスキルアップを行っている。	
9 今後の活動の展望	研究会は、平成4年の協会の前身体発足以来21年間で167回開催したが、“都市を耕す”市民農園の活動は、“農業理解と食育”“都市環境保全”“福祉”“コミュニティ対策”“都市防災等、広範にわたる機能・役割があるため、時代に合わせた研究テーマが誕生しており、益々充実させ、市民農園コーディネーターの活動につなげなければならない。現在50名のコーディネーター認証者を、5年後に100人の目標で取り組む。	
10 法人からのPR	本協会等の地域市民農園協会で構成されている日本市民農園連合は、市民農園国際連盟組織から唯一の日本代表と認められているが、NPO法人千葉県市民農園協会は、連合の中核を担い、海外との交流も深めている。現在、市民農園の機能を活用した過疎解消対策や地域活性化の取り組みが全国各地で行われているが、その助言者としてNPO法人千葉県市民農園協会が各県・各地に指導に出向いている。	

※このエントリーシートは、A4用紙片面1枚で提出してください

※このエントリーシートとは別に、A4用紙片面1枚以内で写真・チラシ等を添付することができます

※このエントリーシートは、市民投票等の際に、公開します（添付した写真・チラシ等も含む）